2026 年 10 月吉日

日本外科学会
御担当者様

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会 理事長 平田敬治
一般社団法人日本癌治療学会 理事長 吉野孝之
大腸癌研究会 会長 上野秀樹
公益社団法人日本婦人科腫瘍学会 理事長　鈴木直

「大腸癌・婦人科癌治療における Lynch 症候群診断の意義に関する見解書」
パブリックコメント募集のご案内

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げるとともに、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、日本遺伝性腫瘍学会、日本癌治療学会、大腸癌研究会および日本婦人科腫瘍学会の合同にて、「大腸癌・婦人科癌治療における Lynch 症候群診断の意義に関する見解書」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。
本見解書は、Lynch 症候群の診断に基づく治療方針の選択やサーベイランスの実施など、その臨床的意義を明確にするとともに、適切な診断を実際のがん診療へ確実に結び付けることの重要性を示すことを目的としております。
現在、本見解書案を日本遺伝性腫瘍学会、日本癌治療学会、大腸癌研究会、日本婦人科腫瘍学会および協力学会である日本臨床腫瘍学会のホームページにて公開し、広くご意見を募集しております。
大腸癌、婦人科癌をはじめとするがん診療に携わる多くの皆様にご高覧いただき、いただいたご意見を踏まえて、より実用性が高く質の高い見解書へと発展させたいと考えております。
つきましては、本パブリックコメント募集につきまして、貴会会員の皆様へご周知いただけますと幸甚に存じます。また、本見解書の内容について忌憚のないご意見を賜れましたら幸いです。
今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。
謹白

記

１．以下より，『大腸癌・婦人科癌治療における Lynch 症候群診断の意義に関する見解書』の草案をダウンロードのうえ，ご確認ください。
【草案 DL 先】草案 DL ページはこちら
※ファイルサイズが大きいため，表示・ダウンロードに時間がかかる場合がございます。

２．草案に関するご意見は，以下の Web フォームよりお寄せください。
【ご回答先】Web フォームはこちら

※パブリックコメント募集期間：2026 年 10 月 23 日～2026 年 11 月 13 日

以上